

2019年3月期 第1四半期 決算概況



キャリア実現支援企業

東証JASDAQ : 9696

<http://www.with-us.co.jp>

目次

ウィザスについて

ウィザスとは	．．．．．	P. 3
トップメッセージ	．．．．．	P. 4
会社概要	．．．．．	P. 5

2019年3月期 第1四半期決算業績概要（連結）

業績の概要	．．．．．	P. 6
-------	-------	------

事業別概況

事業別業績	．．．．．	P. 9
学習塾事業	．．．．．	P.12
高校・キャリア支援事業	．．．．．	p.15
その他	．．．．．	p.18

株主還元・CSR活動

株主還元	．．．．．	p.21
CSR活動等の実施	．．．．．	p.22

ウィザスとは – What is “With us” –

ウィザスグループは、学習塾事業、高校・キャリア支援事業、その他（ICT教育・能力開発事業、企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業）など多様な教育ニーズに対応した幅広い分野での総合教育サービスを提供しております。



学習塾事業

幼児から高校生までを対象とする教科学習指導・進学受験指導並びに能力開発指導
(株)ウィザス、(株)フォレスト、(株)佑学社、(株)学習受験社、京大ゼミナール久保塾(株)



高校・キャリア支援事業

広域通信・単位制高等学校の運営及び高等学校卒業程度認定試験（高認）合格のための受験指導、保育士・介護福祉士等の資格取得に向けた学習支援、海外からの留学生を対象にした日本語教育サービス等

(株)ウィザス、(株)エヌ・アイ・エス、(株)Genki Global、
(株)ウィザス グローバル ソリューションズ



その他

WEB上での速読を主体とする各種教育サービス、ICTソリューションサービスを提供するICT教育・能力開発事業、企業向け社員教育コンテンツの開発・販売を行う企業内研修ポータルサイト事業、ランゲージサービス事業等

(株)SRJ、(株)レビックグローバル、(株)吉香等

トップメッセージ

私たちは、ウィザス独自の「プラスサイクル学習法※」の実践を通じ、生徒の「自他肯定感」向上を育むために、一人ひとりの生徒の状況や個性を尊重し、生徒自身が自分を意欲喚起でき、自己成長し続ける力を養える教育をめざして参ります。

※プラスサイクル学習法 (P.12ご参照)



代表取締役社長
生駒 富男

【経営理念】

3つの貢献

顧客への貢献

満足を超えた業務の遂行と
人間力発揮を通じた貢献

Customer

社員への貢献

社員・スタッフの自己成長と
真のハッピーを通じた貢献

Employee

社会への貢献

コーポレートビジョンの実現と
業績向上を通じた貢献

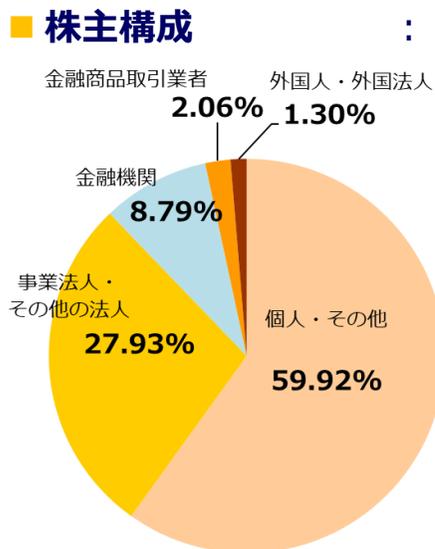
Society

【コーポレートビジョン】

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関をめざす

会社概要

- **会社名** : 株式会社ウィザス (With us Corporation)
- **設立** : 1976年7月10日
- **資本金** : 1,299百万円
- **本社所在地** : 大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
- **従業員数** : 820名 (男: 592名 女: 228名) ※2018年6月末現在 (連結)
- **上場市場** : 東証JASDAQ
- **発行済み株式数** : 10,440,000株 ※2018年6月末現在



	株主名 (2018年6月末)	所有株式数(千株)	議決権比率
1	株式会社ヒントアンドヒット	1,188	11.81%
2	株式会社増進会出版社	626	6.22%
3	ウィザス社員持株会	521	5.18%
4	堀川 直人	466	4.63%
4	堀川 明人	466	4.63%
6	株式会社明光ネットワークジャパン	267	2.66%
7	日本生命保険相互会社	249	2.47%
8	堀川 一晃	221	2.19%
9	株式会社市進ホールディングス	220	2.18%
10	賀来 昌義	196	1.95%

(注1) 上記は持ち株比率で表記しております。
 (注2) その他には自己株式を含んでおります。

(注1) 上記のほか、自己株式が377千株あります。
 (注2) 議決権比率は自己株式を控除して計算しております。

業績の概要

当社グループは「①顧客満足度の向上、②サービス品質の強化、③商品の再構築と業態開発、④事業領域の拡大、⑤人材育成とマネジメントの強化、⑥グループシナジーの再構築」を経営方針の中核に据えております。当第1四半期におきましては、付加価値の高いサービスの提供やサービス形態の多様化に対応した業態開発を推進するとともに、グローバル対応の強化等、新規事業への投資を積極的に行い、企業価値の拡大を図っております。

以上の結果、売上高は3,499百万円(前年同期比5.5%増)、営業損失は423百万円(前年同期は営業損失446百万円)、経常損失は392百万円(前年同期は経常損失433百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は307百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失341百万円)となりました。売上高につきましては、第1四半期連結累計期間としては過去最高となりました。

(単位：百万円)

	2018.3 1Q 実績	構成比	2019.3 1Q 実績	構成比	対前期増減		(参考) 通期	
					金額	%	2018.3 実績	2019.3 計画
売上高	3,316	-	3,499	-	182	5.5%	16,241	16,686
売上原価	2,796	84.3%	2,950	84.3%	153	5.5%	11,490	11,815
売上総利益	519	15.7%	548	15.7%	28	5.6%	4,750	4,870
販売管理費	966	29.1%	972	27.8%	6	0.7%	3,924	3,963
営業利益	△446	-	△423	-	22	-	826	907
経常利益	△433	-	△392	-	41	-	838	924
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	△341	-	△307	-	33	-	177	370

(注) 当社グループの収益構造は、新年度開始となる4月の生徒数が通期で最も少なく、その後増加していくことや、夏・冬・春の季節講習会時に売上高が通常月以上に増加することに加え、固定費や広告宣伝費等の先行投資的費用が発生するため、季節的な収益変動要因があります。

連結 BS 2019年3月期 第1四半期

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて1,301百万円減少し、12,174百万円となりました。

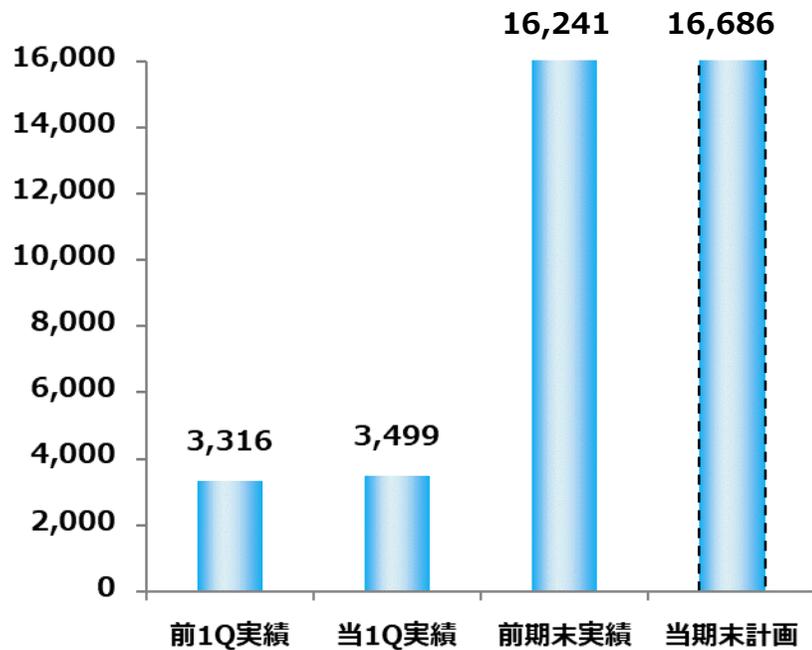
(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 1Q 実績
流動資産	6,073	4,558
現金及び預金	4,932	3,745
授業料等未収入金	354	38
その他流動資産	786	774
有形・無形固定資産	3,791	3,827
投資等	3,609	3,788
資産合計	13,475	12,174
流動負債	5,929	5,255
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・1年内償還予定の社債	824	881
未払金・前受金	3,319	2,842
未払法人税等	275	102
その他流動負債	1,510	1,428
固定負債	2,531	2,475
長期借入金・社債	379	359
その他固定負債	2,152	2,116
純資産合計	5,014	4,443
負債・純資産合計	13,475	12,174

連結業績推移 2019年3月期 第1四半期

(単位：百万円)

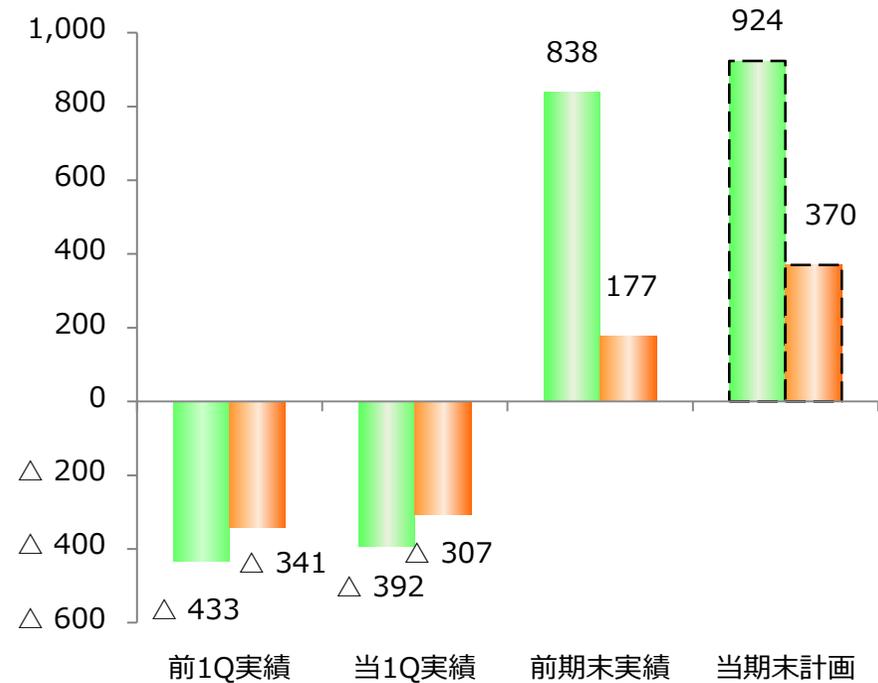
売上高



(単位：百万円)

経常利益/親会社株主に帰属する
四半期純利益・当期純利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益



事業別業績 2019年3月期 第1四半期（連結ベース）

（単位：百万円）

1Q

	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前1Q期	当1Q期	前1Q期	当1Q期	前1Q期	当1Q期	前1Q期	当1Q期
売上高	1,564	1,652	1,032	1,176	720	670	-	-
営業利益	▲ 188	▲ 188	4	37	96	52	△ 359	△ 325
校舎数	186校	187校	41校	41校	-	-	-	-

（ご参考）

通期

	学習塾事業		高校・ キャリア支援事業		その他		調整額	
	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画	前期実績	当期計画
売上高	8,445	8,623	5,119	5,175	2,676	2,888	-	-
営業利益	1,045	1,009	870	784	221	255	△ 1,311	△ 1,141
校舎数	188校	195校	41校	41校	-	-	-	-

- （注）
- ・営業利益は本社経費配賦前営業利益となります。
 - ・経営管理体制の見直しに伴い、経営資源の配分の決定方法及び業績評価方法の類似性・関連性に基づき、当第1四半期連結累計期間より前連結会計年度において、「その他」に含まれていた幼児教育事業を「学習塾事業」に統合しております。尚、前年同期比較については、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

校舎展開

積極出店とニーズに応じた移転・増床を行うことにより、競合力の強化とドメインの拡大を図っております。

全国228校

(2018年6月末現在)



事業展開

当社グループは、総合教育サービス企業として、学齢や指導形態等、多様な顧客ニーズに対応するブランド形成を図っております。海外からの留学生を対象とした日本語教育サービスの提供やランゲージサービス事業等、事業領域を積極的にひろげております。

セグメント	会社名/事業	ブランド名	対象				
			幼児	小学生	中学生	高校生	社会人等
学習塾事業	(株)ウィザス	第一ゼミナール		←→			
		ファロス個別学習		←→			
		第一ゼミパシード PASSPORT		←→			
		スクールZ		←→			
		合格指導会 (シュール)		←→			
		MedSUR (メッドシュール)				←→	
	(株)学習受験社	GAZ (ガゼット)		←→			
	(株)佑学社	佑学社・大阪教育		←→			
	(株)フォレスト	国語学習会		←→			
	京大ゼミナール久保塾(株)	久保塾		←→			
幼児教育		Blue Dolphins ブルー dolphins	←→				
高校・キャリア支援事業	(株)ウィザス	第一学院高等学校				←→	
		第一学院専門カレッジ					←→
	(株)エヌ・アイ・エス (株)Genki Global	ic NAGOYA INTERNATIONAL COMMUNICATIONS INSTITUTE Genki JAPANESE & CULTURE SCHOOL				日本語教育サービス	←→
その他	ICT教育・能力開発、 広告、企業内研修等・外サイト、 ランゲージサービス等	SRJ 株式会社 双喜コミュニケーションズ	株式会社ブリーズ	Daiichi Progress	株式会社レビックグローバル REVIC GLOBAL	KIKKO For Better Communication	

学習塾事業：独自の教育プログラムによる顧客満足度の追究

進学塾として、「成績向上と志望校合格」に全力を注ぐのは当然のこと。我々がめざすのは、それにとどまらない、生徒一人ひとりの未来を見据えた指導です。受験勉強を単なる詰め込みで終わらせず、将来に生きる「自ら意欲的に考え、学ぶ力」を育む機会と位置づけ、社会で活躍できる人づくりを推進します。

2018年 3つの柱

【1】独自の意欲喚起教育

創業以来培ってきた意欲喚起教育EMS (the Educational Method of Self-motivation) を更に進化させ、「社会」や「将来」について知り、未来を「自分ごと」としてとらえ、「将来に向けて、今何を学ぶべきか」という「自己理解」を深めることで、学習意欲の向上につなげていきます。

【2】プラスサイクル学習法

プラスサイクル学習法とは、当社40年間の指導経験に、最新の脳科学の研究成果を活かした第一ゼミナール独自の教育プログラムです。生徒自身のやる気を引き出して継続させることで、塾でも学校でも家庭でも、主体的に学習に取り組む姿勢を育み、一人ひとりの成績向上・志望校合格をサポートいたします。

【3】グローバル人材の育成

4技能（聞く・話す・読む・書く）の習得はもちろん、世界を舞台に使われている活きた英語を身近に体験し続けることで、英語を「自分ごと化」できるようになります。プログラムの開発は、長年にわたり国際社会において幅広い分野で通訳・翻訳・人材派遣・アテンダントサービスを提供している、株式会社吉香（ウィザスグループ）と一体となって、進めております。

2018年3月期 実績

売上高	8,445百万円
営業利益	1,045百万円



2019年3月期 (通期計画)

売上高	8,623百万円
営業利益	1,009百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益



トピックス：グローバル人材育成を睨んだ幼児教育

世界を舞台に活躍できる人づくりを目指して、本格的な英語教育に力を入れています。6つの教育方針を理念に「英語を学ぶ」のではなく、「英語で学び、英語で遊ぶ」ことで、自然なかたちで英語・コミュニケーション能力を育む教育スタイルを実践しております。

幼児期からの英会話能力養成



英語で保育、英語で授業をモットーに、経験豊かな外国人との生活面を含めたふれあいを通じて、英会話能力を育成いたします。国際感覚を養成する英語環境の保育施設を展開しております。

英語指導を行う学童保育施設の展開



学童保育に加え、ますます進む国際化、英語必須時代に向けて、国際社会で通用するコミュニケーション力を養成するカリキュラムを展開し、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）を本格的に指導します。さらに、映像・ICT教材を活用し、児童の学習意欲を引き出すとともに、ITリテラシー*の向上もはかります。

*1: パソコン・インターネットに関する利用能力

6つの教育方針



高校・キャリア支援事業：独自のICT教育 日本語教育サービスも展開

高校事業

第一学院高等学校

構造改革特区の認定を受けた株式会社立の広域通信制高校で、東日本に「高萩本校」、西日本に「養父本校」の2校を設置しております。独自のICT教育を推進しており、全生徒を対象にタブレットを使用し、映像・音声による授業配信とともに、レポート作成・提出・進捗管理を一体的に行っております。

設置コース

- 通学型 標準コース、特別進学コース、総合コース、特化コース、芸能コース、スポーツコース、美容コース、ペットコース、本校通学コース等
- 通信型 Mobile HighSchool（通信コース）、高認取得通信コース



高萩本校（茨城県）



養父本校（兵庫県）

2018年3月期 実績

売上高	5,119百万円
営業利益	870百万円



2019年3月期（通期計画）

売上高	5,175百万円
営業利益	784百万円

（注1）共通費用配賦前の営業利益

キャリア支援事業

第一学院専門カレッジ

社会人を対象に週1～2日の通学で保育・介護・ビジネスの資格取得に向けた授業を実施しております。実技授業により、現場で活用できる知識を身につけることが可能です。

設置コース：介護福祉士実務者研修、キャリアデザインコース

日本語教育サービス事業



主にアジア圏からの留学生を対象にした日本語教育サービスを提供しております。国籍・性別・年齢を超えてコミュニケーション能力を上げ、世界的な視野で考え行動できる人材を育成し、地域社会・国際社会に貢献してまいります。



日本語習得を希望するヨーロッパの学生、社会人を対象に、日本語を学ぼうとする一人ひとりの学習者に寄り添いながら、日本語の特質や価値観・習慣・日本文化を伝え、地域交流や様々な体験イベントを通じて、諸外国からの日本理解に貢献してまいります。

高校・キャリア支援事業：第一学院高等学校の特色ある専門コース

通信制高校としての特色を活かして、生徒の興味・関心に応じた魅力あるコースを展開し、多様なスペシャリスト育成に貢献してまいります。

特化コース

デジタルハリウッド大学／デジタルハリウッドと提携。プロの講師陣から実践的に学びます。

ICTスキルやプログラミングなど、これからの時代で一層必要となる力を、プロの講師陣から実践的に学びます。



芸能コース

渡辺プロダクショングループの『渡辺高等学院』と提携。

プロ講師から芸能デビューに直結した専門レッスンを受けることができます。



スポーツコース (サッカー部)

学習時間とトレーニング時間をフレキシブルに確保し、文武両道のアスリートを育成します。



美容コース

美容専門学校との提携。美容のプロになるための専門知識（エステやネイル・メイクなど）やプロの技術を実践的に身につけます。



ペットコース

ペットに関する分野で活躍するために、ペット業界のビジネスからペットの美容・健康に関することまで、幅広い専門知識を身につけます。



その他

ICT教育・能力開発事業

- 能力開発「右脳速読講座」を全国教育機関に提供するとともに、企業や社会人向けコンテンツも制作・販売しております。
- ICT機器やアプリ、ネットワーク構築等のソリューションサービスをワンストップで提供しております。



2018年3月期 実績

売上高	2,676百万円
営業利益	221百万円



2019年3月期 (通期計画)

売上高	2,888百万円
営業利益	255百万円

(注1) 共通費用配賦前の営業利益

企業内研修ポータルサイト事業

- 法人向けe-ラーニングサービスを展開し、社員育成・能力開発教材コンテンツを提供しております。
- 映像を活用し、学習スタイルや学習方法に応じた最適な教育の開発と学習環境のプロデュース、ナレッジ継承などによる人材育成及び人材開発をサポートします。



ランゲージサービス事業

- 世界90言語に対応できるスペシャリストを抱え、在京テレビ局を中心に同時通訳や映像翻訳等を行っております。
- 通訳・翻訳、秘書、受付、一般事務だけでなく、展示会・周年事業・式典・研修会などの各種イベントに必要な運営・進行スタッフを始めとして専門講師等の派遣を行っております。



その他 ICT教育・能力開発事業

ICT教育・能力開発では、速読を当社独自で応用・研究し、小学生から社会人までの幅広い年齢層を対象に、速読力を総合的に鍛える『速読速解システム』等を制作・販売するとともに、ICTを活用したオンライン英語コースを販売しております。さらにICT教育ソリューション・サービス事業として学習塾・学校の講座運営にあわせてベストなICT教育環境の導入から環境支援、運用支援をワンストップサービスで提供しております。

速読速解システム



脳科学に基づき開発されたトレーニングを行い、長文を早く正確に読み解き記憶する能力を最大限に引き出し、記憶力や理解力、入試での合格力を高めます。学習塾や公私立学校等2,000校以上の教室で導入され、受講者は累計22万人を突破しております。この速読メソッドを活用し、受験英語に必須の長文読解に特化した「速読英語」（1,000校以上で導入）や「社会人速読」にも展開をひろげ、幅広い年齢層に対応しております。



その他、記憶力・集中力・眼の機能など、「脳活性」に重点を置いたトレーニングシステムの『脳サプリ』、食事・運動・知的トレーニングなどを組み合わせて、認知症の予防習慣を支援するプログラムの『認トレチャレンジ』、第2回キャリア教育アワード経済産業省優秀賞のキャリア教育講座『みらい』などを提供しております。

その他 企業内研修ポータルサイト事業

法人向けeラーニングサービスの提供



三井住友銀行をはじめとするメガバンクやメガ損保、国内自動車メーカー等の大手製造業、SGホールディングスグループ、アサヒビール等の大企業における社員研修や営業研修等の法人向けオンライン教育サービスを提供しております。映像などのリッチメディアを活用した教材の開発から、学習環境のプロデュース、ナレッジ継承による人材育成・開発を行っております。

主な製品

■eラーニング教材

- ・ 内定者/新入社員研修・教育
- ・ 人材育成（グローバル人材、管理職、若手中堅社員向け）
- ・ 営業研修
- ・ 会計/財務
- ・ MBA
- ・ 語学（TOEIC/中国語）
- ・ PC/ITスキル
- ・ CSR/コンプライアンス

■外国人スタッフ向け研修教育（多言語）

- ・ 英語
- ・ 中国語
- ・ ベトナム語



その他 ランゲージサービス事業

株式会社吉香では、通訳・翻訳の分野において90カ国にのぼる多様な言語対応、24時間体制での国際報道サポート等、独自性の高い事業運営を手掛けているとともに、昨今のインバウンド需要に対応するため、語学力の高いスペシャリストの派遣等、高度人材サービスを展開しております。



<事例紹介>

文化財団主催の東京オリンピック、パラリンピック関連会合での日英逐次通訳

2020年の東京オリンピック、パラリンピックに向けての文化財団主催の会合で、英語⇔日本語の逐次通訳を担当いたしました。日本の大臣クラスや海外からのゲストなど、クールジャパンにかかわる文化人・知識人の方々のメッセージの授受を円滑に行いました。



米国大手流通・量販店CEOのテレビ出演

テレビの収録現場で出演者や番組スタッフがライブでゲストとコミュニケーションを取るための通訳業務です。英語⇔日本語の同時通訳ではありましたが、出演者の業種も指定されているため、限られた条件での優れた通訳者を起用しております。



化粧品販売支援通訳

大手ドラッグストアで販売されている有名国内化粧品メーカーの商品を、訪日外国人観光客（中国人）に向けて販売する際の通訳業務を担当しております。各店舗にて、日本人の販売員と中国人のお客様の間に立って、商品の説明等を行っております。



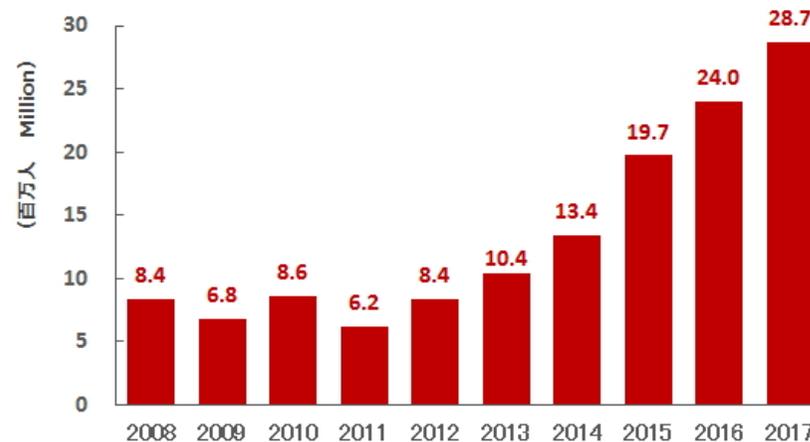
トピックス：グローバル人材の育成事業

グローバル化が急速に進む中、当社グループでは予てより、事業領域拡大に向けた動きを進めて参りました。日本語教育サービスを運営する2社、通訳・翻訳・スペシャリスト派遣等のランゲージサービスを展開する1社を順次グループ化するとともに、フィリピン等ASEAN諸国の送り出し機関・大学と連携し、現地で日本語教育を施した上で、日本企業に人材を紹介する有料職業紹介事業も開始しております。

更に今期からは、より一層高まる日本語教師養成のニーズに応えるため、当業界で実績のある「アルファ国際学院」を運営する株式会社アーク教育システムと合併で、株式会社ウィザスグローバルソリューションズ（所在地：東京都千代田区、代表取締役：六川 泰）を設立いたしました。

質の高い日本語教育の提供を通じて、外国人留学生や企業で働く外国人スタッフへの日本語教育に貢献するとともに、今後働き手不足が想定されている、日本の労働市場における人手不足の解消に寄与して参ります。

訪日外国人数の推移



出典：日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization



株主還元

当社は株主の皆様に対する利益還元を最重要課題のひとつと考えております。利益配分の基本方針としましては、将来における企業成長と経営環境の変化に対応するための投資や強固な財務体質構築に資する内部留保金を確保しつつ、継続的な配当による株主の皆様への利益還元を積極的に行い、安定配当に主眼をおいた考え方を取っております。

期	年度	1株当たり配当金 (円)	純資産配当率 (%)	利回り ^(注1) (%)	株価 (期末終値) (円)
40期	2016.3	16.00 (記念配2.5円含)	3.6	5.08	315
41期	2017.3	16.00	3.5	4.22	379
42期	2018.3	16.00	3.6	3.75	427
43期予想 ^(注2)	2019.3	16.00	—	—	—

単元株数は100株となっております。

(注1) 利回りは、各期3月末日時点の株価で算出しております。

(注2) 第43期につきましては、普通配当として中間配当予想6円、期末配当予想10円となっております。

環境保全活動、CSR活動等の実施

環境保全活動

第一ゼミエコ★プロジェクト

当社では、「**「世界の子ども」と「地球の未来」を創る**」をテーマとする「ペットボトルキャップ回収」に取り組んでおり、キャップの売却益が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」へワクチン代として全額寄付されます。

キャップ回収 : 5,279,089個

ワクチン : 6,598人分

CO₂削減 : 41,573Kg

2018年5月25日



- キャップ800個
→ポリオワクチン1人分
- キャップ400個
→3.15kgのCO₂削減

校舎照明の切り替え

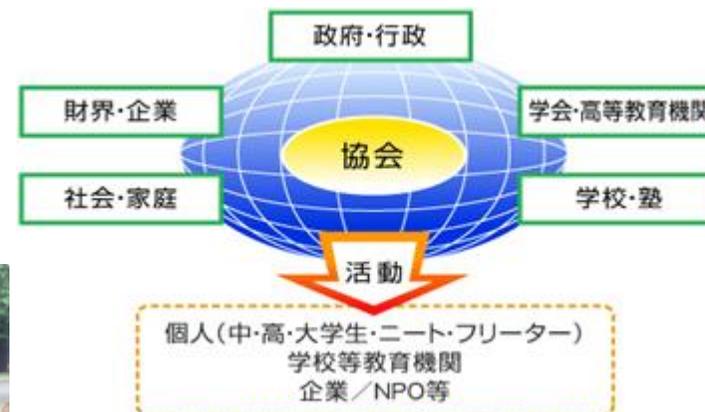
当社では、節電と環境保護のために全校舎でのLED照明切り替え活動を行っております。LEDは地球環境に貢献でき、電力使用量及びコストの大幅削減になる照明です。



社会貢献活動

キャリア教育事業を通じた活動

青少年と行政・企業・教育機関等とのキャリアネットワーク形成を推進する「一般社団法人 共生と共育ネットワーク」の受託業務において、収益事業としてではなく社会貢献活動の一環と位置付け、全国の保護者・団体等への講演・相談会を行うと同時に、カウンセラーの養成・研修を推進しております。





東証JASDAQ : 9696

お問合せ先 株式会社ウィザス 統括支援本部 経営企画チーム

【TEL】 06-6264-4205

【Mail】 webmaster@with-us.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。